



令和7年度 開校 15 周年

練馬区立光が丘四季の香小学校経営計画

校長 繁田 幸江

1 目指す学校

(1) 目指す学校像

教職員・保護者・地域・児童が一つになって輝く学校

- 児童にとって 「毎日笑顔で過ごせる学校」
- 教職員にとって 「協働して児童の力を伸ばせる学校」
- 保護者にとって 「安心して児童を任せられる学校」
- 地域にとって 「親しみを感じ誇りに思える学校」

(2) 目指す児童の姿 (教育目標) ◎は重点目標

◎ 自ら考える子

- 「主体的・対話的で深い学び」の実践、思考力・表現力の育成、体験学習の重視
- 「確かな学力」の定着と向上、モジュールの活用、問題解決型学習、言語活動の重視
- 「ＩＣＴを活用した学習」の汎用化、タブレットや電子黒板の活用

思いやりのある子

- 「人との関わりを大切にする子」の育成に向けた縦割り班活動、交流活動の重視
- 「豊かな心を育む」道徳教育、人権教育の充実、芸術鑑賞教育の重視

たくましい子

- 「自分の健康と体力向上を考え実践できる子」の育成に向けた体育科授業の充実
- 「健康保持・体力向上」を図るための健康教育・食育の充実

(3) 本校の特色を生かした学校経営

- 地域学習の充実 (光が丘の施設、自然環境、地域人材の活用など)
- 小中一貫教育の充実 (光が丘第一中学校)、幼・保・小連携教育の推進 (近隣の園との交流)
- こぶしルームと連携した特別支援教育の充実
- 光が丘図書館や図書ボランティアと連携した読書活動の充実
- 音楽クラブの筝演奏、6年生の筝体験

2 今年度の取り組み目標と方策

自ら考え学び合う力を育てる

- ① 児童主体の楽しく分かりやすい授業を実践する。(校内研究:国語科「主体的・対話的で深い学び」)
- ② 学習発表会を通して、学習したことを伝えたり表現したりする力を育てる。
- ③ モジュール(朝)や家庭学習、地域未来塾(3年生)などを通して、基礎学力の向上を図る。
- ④ タブレット端末や電子黒板など、ICT機器を活用した学習を汎用化する。
- ⑤ 図書室の充実と読書活動の推進により、読書に親しませる。(毎週金曜日:朝読書)

思いやりのある豊かな心を育てる

- ① あいさつの響き合う学校づくりを推進する。(児童、教職員、保護者、地域)
- ② 縦割り班活動や学校行事などを通して、思いやりの心や助け合う心を育てる。
- ③ 道徳の授業を中心に、人権教育の充実を図り、自他を大切にする心を育てる。
- ④ 豊かな植栽や広い校庭など、恵まれた環境を生かした教育活動を充実させる。

安全・安心・人権を守る

- ① 児童を理解し、いじめや不登校などの問題について、適切に対応する。
- ② 児童が安全に過ごせるように、安全点検や安全指導を徹底する。
- ③ 児童の人権を守る環境や体制をつくる。(練馬区:人権を基盤とした教育・研修プログラム)
- ④ 児童や保護者が相談しやすい体制をつくり、周知する。

健康と体力向上を図る

- ① 保健指導を充実させ、感染症予防に努め、健康への意識を高める。
- ② 体育の授業や全校での取組、外遊びの励行を通して、体力向上を図る。
- ③ 給食指導を通して、食育の充実を図る。(四季の香ランチ、給食だよりの発行)

地域の一員であるという自覚を育てる

- ① 開校15周年の節目を生かした地域学習や児童集会を行う。
- ② 小中一貫教育や保幼小連携教育を推進する。
- ③ 保護者や地域に学校の教育方針や学校の様子を積極的に発信する。(シグフィー、HP、学校公開など)